

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	11	課題区分	C	令和7年4月28日	
横断的な課題		雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保						
地域重点政策		雪国の暮らしを支えるライフライン、地域医療など生活基盤の維持と確保						
実施機関		北信地域振興局			担当課	所属	企画振興課(北信保健福祉事務所)	
事業名		北信州の食を楽しむ事業 (ひくシオたすベジ北信州キャンペーン事業)				電話	0269-23-0201	
						E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	北信地域の健康課題を解決するために、「減塩」と「地元野菜と果物の摂取」に取り組むキャンペーンを管内全体で実施できるようにし、北信地域の健康づくりと地産地消、地元農産物の普及を促進する。						
	現状と課題	【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】 ・北信地域は、脳血管疾患による年齢調整死亡率が県平均と比べて高く、40～69歳までの働き盛り世代の早世者も見られる。また、40～50歳代の収縮期血圧の平均値が県より高い状況にあり、血圧と関連が深い食塩摂取量も男女とも県の目標量よりも多い状況にある。また、生活習慣病予防に効果がある栄養素を含む野菜の摂取量は特に若年者が県の目標量より少ない状況にある。これらの健康課題を解決し、地域全体の健康づくりを推進するためには、管内市町村をはじめ、保育所、学校、医療機関、飲食店、企業等と連携を図りながら、年代に応じた働きかけをしていくことが必要であり、その体制づくりを行い、実践を促していくことが重要である。						
	内容	【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】 ・関係機関・団体と課題を共有し、推進方策及び取組方法の検討・協議を行い、地域住民に対し地域一丸となって課題解決に向けた取り組みができるよう、啓発用の共通媒体を作成し配布する。さらに、普及方法等の情報交換などを行いキャンペーンを進めていく。 ・保健福祉事務所、各関係機関・団体等が、健診や集会・講座等様々な機会を捉えて、塩分チェックによる減塩の意識付けと、基本リーフレット等による減塩・野菜摂取増加の指導、普及を行うとともに、調理実習や試食会等による体験、給食だより、広報等による「地元の野菜と果物摂取、減塩」の実践を促すキャンペーンを実施する。 ・これまでの取組において、地域の食文化においても一定程度の減塩・野菜摂取増加が進んでいるが、さらに日常生活の中で食を楽しみ健康的な生活習慣が定着するよう、地域の主な郷土食を紹介するレシピリーフレットを作成し、啓発活動に用いる。作成に当たっては、当所が育成する食生活改善推進員と検討し栄養士会等の助言をいただきながら作成する。作成後は、食育フォーラム等の主催事業や地域の子育ての食育講座、シニア大学、学生等の講座等で、広く発信するための資料とするとともに、基本的な実践方法を説明する教材として使用し、地域の各世代の生涯にわたる健康づくりに活用してもらう。また、世代間交流の一助とする。 ・また、当所で登録を進める健康づくり応援弁当は、減塩・野菜摂取増加に向けた良いお手本であることから、そのメニューを日々の食事に活用できるよう、内容を具体的にPRするチラシを作成する。						
		事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月					
		(単位:円)						
事業費等	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額	備考		
	ひくシオたすベジ北信州キャンペーン事業		「ひくシオたすベジ北信州」の普及啓発を進め、実践を促すリーフレットを作成し、活用方法を紹介しながら配布し、地域全体への波及させる。		327,572	○助言者謝金25,800円(@6,450×4日) ○助言者旅費4,904円(@1,226×4日) ○印刷費296,868円 ・北信州郷土食レシピ99,440円 (@113円×800部×1.1) ・健康づくり応援弁当チラシ98,098円 (@49円×1,820枚×1.1) ・基本リーフレット99,330円 (@64.5円×1,400枚×1.1)		
	合 計				327,572			
指標及び達成状況	成果指標				目標値	成果	達成状況	
	減塩・野菜摂取増加の実践を促すためのリーフレットの配布数				200箇所	200箇所	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
	・減塩と野菜摂取増加の実践を促すためのリーフレット等を活用した講座等の開催				60回	72回		
事業実績・成果	[ひくシオたすベジ北信州キャンペーン] ○管内共通のリーフレット等を配布することで、食育関係者にキャンペーンの趣旨の共有が図られ、住民に働きかけるきっかけとなり、各機関・団体で実施する講習会、住民への指導及び啓発活動に効果的に使用され、地域の食文化を大切にしながら「ひくシオたすベジ北信州キャンペーン」の趣旨が広がり定着してきた。 ○保育所等では、リーフレット等で普及することで、野菜等の栽培体験と給食での活用を行い、子どもの時から野菜に親しむ体験を促進することができた。併せて保護者へも普及啓発が行われ、「減塩・野菜摂取増加等」を子育て世代にも働きかけることができた。 ○リーフレット等で関係者がこのキャンペーンの趣旨を共有することで、連携した食育講座を学校等で実施することができ、子どもから家庭へも普及し、地域の野菜摂取増加等の実践につなげることができた。 ○今後、働き盛り世代への取組が進むようにリーフレット等を活用し働きかけることができた。							
今後の方向性	管内全体で住民に密着して普及するため、市町村・関係団体から出された意見等をもとに関係会議で検討・周知しながら進めていく。特に働き盛り世代の普及啓発等について検討し進めていく。							